

授業研究会 ～自立に向けた5つの力を育む授業実践～

本校では、あらゆる教育活動を通じて「将来、社会人として自立するための力の育成」を重点目標に掲げています。その具体的な指針として、「考える力・決める力・表現する力・実行する力・受け入れる力」という5つの力を育むことを目指しています。

これらの目標を達成するため、日々の授業では「ICTの効果的活用」「考えを伝え合い、表現する活動」「連続8分以上の学習活動」を学習基盤として位置づけ、実践しています。

本日2校時には授業研究会を行い、教育委員会の先生方にもその取り組みの様子を参観していただきました。各教室では、社会科でのロイロノートを用いた意見共有や、体育科での電子黒板によるダンスの動きの確認、国語科の品詞の識別における端末利用など、ICTを効果的に活用した学びが展開されていました。

また、理科の授業においても深い学びが見られました。2年生はモデルを使いながら物質の存在形態を視覚的に表現し、3年生は中和の実験結果をもとに自らの考えを論理的にまとめるなど、アウトプットを重視した活動が印象的でした。

生徒は生き生きとした姿勢で学びに向かっており、自ら主体的に取り組む姿が随所に見られました。今後も、生徒一人ひとりが「分かった」「できた」という実感を積み重ねられるよう、より質の高い授業づくりに取り組んでいきます。

